



病 院 概 要

令 和 7 年

理 念

心 に ひ び く 医 療 の 実 践

基本 方針

- 1 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療を行います。
- 1 安全で信頼されるチーム医療を行います。
- 1 地域の医療機関と連携し、患者さん中心の継続した医療を行います。
- 1 地域の中核病院として、最新かつ高度な医療を提供できるよう努めます。
- 1 職員が生き生きと働くことができる環境づくりに努めます。
- 1 病院の理念を理解し、専門性を持った人材を育成します。

岐 阜 市 民 病 院

1 沿 革

～昭和期～

昭和16年12月	市内玉宮町にあった診療所を病院として現在地に新築移転。その後数回にわたって増築し、11の診療科と病床数470床、建築面積11,490㎡を有する総合病院となる。
昭和36年度	災害予防と病院機能の発揮に利便を加える見地から全体の改築整備を計画。第1期として鉄筋コンクリート造り4階建の病棟を3,043㎡170床建築。
昭和38年度	第2期として3,103㎡162床を建築。
昭和40年度～41年度	第3期及び第4期として、鉄筋コンクリート造り2階建（一部3階）の診療管理棟を建築し、泌尿器科、麻酔科の増設とともに病床数を534床とした。
昭和43年度	第5期として、鉄筋コンクリート造り5階建（一部6階）の精神神経科、整形外科、呼吸器科病棟5,378㎡及び県下有数の設備を備えた物療棟329㎡を建築。これにより病床数は621床となる。
昭和44年 4月	整形外科を増設。
昭和44年度	第6期として、診療管理棟3階に准看護学院施設を増築。47年4月に看護師の質的向上と看護師不足解消策の一助とするため、看護専門学校へ移行。昭和49年4月に准看護学院を廃止。
昭和49年度～50年度	鉄筋コンクリート造り3階建病棟2,514㎡を建築し、病床数は661床となる。
昭和52年度～53年度	自家発電機設備を含むエネルギー棟を建築。
昭和56年 3月	結核患者の減少に伴い、病床数を整理統合し639床となる。
昭和56年 6月	脳神経外科を増設して15の診療科となる。
昭和57年 2月	病床数を653床に増床。
昭和60年度	施設・設備の老朽化や、社会環境、生活環境の急激な変化に対応するため、病院の全面改築の計画を決定し、改築工事に係る附帯工事に着手。
昭和62年度～63年度	第1期工事として、看護専門学校、リハビリ棟を改築。

～平成期～

平成元年度～3年度	第2期工事として、中央診療棟の改築と駐車場を整備。
平成4年度～5年度	診療管理棟及び西病棟の改良工事と看護師寮を改築。通算7年間にわたる事業を完了し、病床数721床となる。
平成 8年 4月	結核病床、精神病床をそれぞれ50床として、総病床数を659床とする。
平成 8年10月	精神病床だった西病棟1階に、精神科デイケア施設を開設。
平成10年 4月	短期人間ドックを廃止し、半日人間ドックを充実させるとともに、外来患者は全面的に薬を院外処方とした。
平成11年 1月	疾病構造の変化に伴う結核患者の減少に伴い、結核病床を50床廃止して病床数を609床とする。
平成12年度	救急関連、ドック関連の改修、MR I 棟の増設工事を実施。
平成14年 4月	病診連携を図るため地域連携部を発足。
平成14年 8月	岐阜市の委託を受け、市医師会の協力により、小児夜間急病センターを開設。
平成14年10月	病院機能評価の認定を受ける。
平成14年12月	東海地方初の脳死下臓器提供を行う。
平成15年 6月	総合内科を開設。また健康増進法施行により全館禁煙とする。
平成16年 4月	がん医療体制の充実を図るため呼吸器腫瘍内科部を新設し、平成17年1月に地域がん拠点病院の指定を受ける。
平成17年度	開放型病床を実施。女性医師による女性専用外来を開設。また、老朽化した外来診療棟・西病棟の改築整備に着手し、平成17年度に基本計画を策定。翌18年度にはボーリング調査を行うとともに実施設計に入る。
平成18年 4月	医療安全推進部を新設。
平成18年10月	セカンドオピニオン外来を開設。
平成19年 2月	県内ではじめて地域医療支援病院として承認される。
平成19年 4月	地域がん診療連携拠点病院として、緩和医療の更なる充実を図るため、緩和医療科部を新設するとともに、8月から外来化学療法センターを開設。
平成20年 4月	D P C（診断群分類別包括評価）の対象病院となる。
平成20年 7月	改築整備事業の実施設計が完了。
平成22年 3月	女性医師・すべての医療従事者にやさしい病院として、公立病院で初めて「働きやすい病院」の認定を受ける。
平成23年10月	岐阜県より災害拠点病院の指定を受ける。

平成23年12月	平成21年2月から工事に着手していた改築整備事業について、第1期工事の西診療棟が完成。
平成24年10月	岐阜市青柳町で運営してきた岐阜市休日急病診療所及び岐阜市休日急病歯科診療所について、施設の老朽化や設備の限界などを解消するため岐阜市民病院内に機能移転。岐阜市医師会協力・岐阜市休日急病センター及び岐阜市歯科医師会協力・岐阜市休日急病歯科センターとして診療を開始。
平成25年12月	第2期工事の立体駐車場整備等が完成し、病院改築整備事業が完了。
平成26年 4月	強度変調放射線治療用高精度放射線治療装置（IMRT）を導入し稼働開始。
平成26年 6月	経営の健全性が確保されており、かつ地域医療の確保に重要な役割を果たしていることが総合的に認められ、総務省から「平成26年度自治体立優良病院総務大臣表彰」を受賞。
平成28年 2月	高度急性期医療のさらなる充実を図るため、従来からある集中治療室（ICU）に加えて、中央診療棟5階の外科病棟に隣接してハイケアユニット（高度治療室（HCU））を整備し稼働。
平成28年10月	PET-CT装置を導入し稼働開始。
平成29年 4月	岐阜県より認知症疾患医療センター（基幹型）の指定を受ける。
平成29年 9月	内視鏡下手術支援ロボットを導入し稼働開始。
平成30年10月	がんゲノム医療連携病院の指定を受ける。
平成31年 3月	最新撮影技術を搭載した3テスラMRIを導入し稼働開始。
平成31年 4月	地方公営企業法の規定の全部を適用。病院の運営責任者である病院事業管理者を新たに設置。
～令和期～	
令和 2年 4月	高度急性期医療のさらなる充実を図るため、中央診療棟3階に「HCU・循環器病センター、心不全センター」として、新たにHCUを整備し稼働。これに加え、個室化など、病床の療養環境の向上を図るため、病床数を565床とする。
令和 3年 4月	「神経内科」を「脳神経内科」に変更。
令和 4年 4月	岐阜薬科大学との教育・研究及び医療に関わる交流等を推進し、両者の一層の発展と岐阜市域の医療、保健、福祉を発展・向上させることを目的として、連携に関する覚書を締結し、学生及び薬剤師の教育・研究の場として、岐阜市民病院内に健康医療薬学研究室（サテライト研究室）を開設するとともに、薬剤局を設置。
令和 5年 4月	PFM（ペイシエント・フロー・マネジメント）の流れをより円滑化し、患者さんへのサポート体制を強化するため、従来の入退院支援センター、地域連携部後方連携部門、医事課医療相談係を統合し、患者総合支援センターを新設。
令和 5年 8月	岐阜県より紹介受診重点医療機関として公表される。
令和 6年 1月	病院情報システムを更新。
令和 6年 4月	医療メディエーター室を新設。

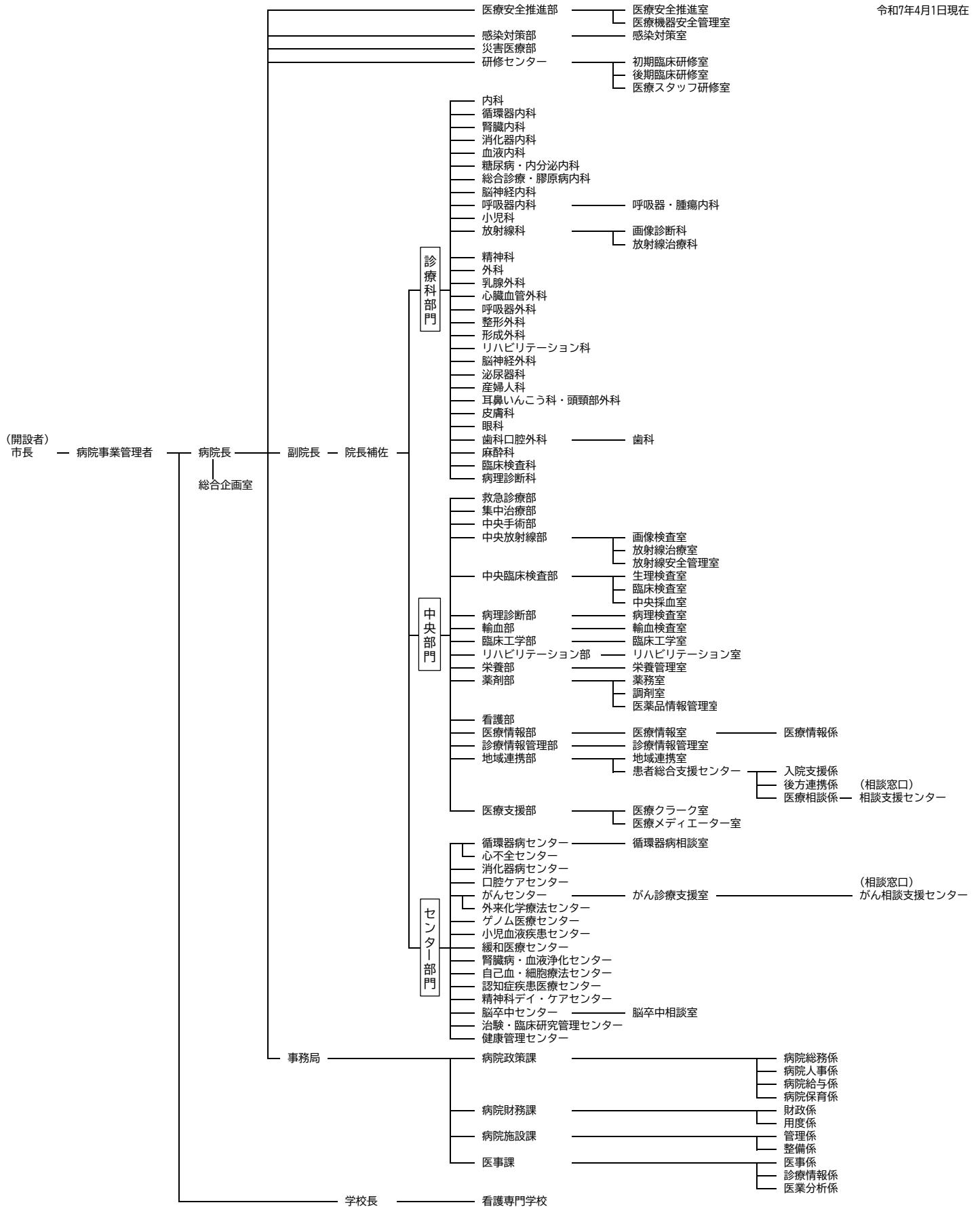
■機関指定等（令和7年4月1日現在）

地域医療支援病院、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、救急告示病院、臨床研修指定病院、歯科医師臨床研修指定病院、岐阜DMAT指定病院、DPC対象病院（DPC特定病院群）、認知症疾患医療センター（基幹型）、健康保険法による保険医療機関、国民健康保険法による療養取扱機関、生活保護法による指定医療機関、労働者災害補償保険法による医療機関、指定自立支援医療機関（更生医療、育成医療、精神通院医療）、母子保健法による指定養育医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病医療機関、指定養育医療機関、指定小児慢性特定疾病医療機関、肝疾患専門医療機関、母体保護法指定医、身体障害者福祉法指定医、精神保健指定医、公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院、紹介受診重点医療機関

2 病床数及び看護単位（令和7年4月1日現在）

区 分	一般	精神	計
病床数（床）	515	50	565
看護単位	13	1	14





(令和7年4月1日現在 休業者を除く)

区 分	医 師	看護師・助産師	医 療 技 術 員														事務・技術員		現業員		その他		合 計
			薬 剤 師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床心理士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	視能訓練士	臨床工学技士	歯科衛生士	管理栄養士	医療ソーシャルワーカー	小 計	事務・技術職員	診療情報管理士	小 計	看護助手	看護 学校 専門	託児所	
																					専任教員	保育士	
実数	150	590	44	32	33	4	1	29	10	4	2	19	2	10	11	201	46	9	55	2	9	3	1010

4 業務状況（令和6年度）

(1) 入院外来患者数

（単位：人）

区 分		入 院		外 来	
		延 患 者 数	一日平均	延 患 者 数	一日平均
内科	循環器内科	11,033	30.2	14,576	60.0
	腎臓内科	2,716	7.4	4,763	19.6
	消化器内科	16,939	46.4	35,346	145.5
	血液内科	21,354	58.5	15,537	63.9
	糖尿病・内分泌内科	3,480	9.5	11,523	47.4
	総合診療・膠原病内科	6,048	16.6	15,351	63.2
	脳神経内科	2,641	7.2	9,945	40.9
	呼吸器内科	12,914	35.4	17,318	71.3
	小 計	77,125	211.3	124,359	511.8
外科		14,336	39.3	12,721	52.3
乳腺外科		1,287	3.5	7,632	31.4
脳神経外科		10,073	27.6	8,758	36.0
整形外科		16,850	46.2	14,614	60.1
リハビリテーション科		—	—	15,140	62.3
小児科		13,225	36.2	14,802	60.9
産婦人科		6,825	18.7	13,802	56.8
眼科		2	0.0	4,133	17.0
耳鼻いんこう科・頭頸部外科		2,343	6.4	9,052	37.3
皮膚科		2,273	6.2	12,874	53.0
泌尿器科		7,084	19.4	14,019	57.7
心臓血管外科		763	2.1	1,594	6.6
呼吸器外科		943	2.6	1,149	4.7
歯科口腔外科		595	1.6	9,396	38.7
放射線科		—	—	5,640	23.2
精神科		10,470	28.7	21,400	88.1
計		164,194	449.8	291,085	1,197.9
小児夜間急病センター		—	—	566	1.9
休日急病センター	内 科	—	—	2,032	28.6
	小児科	—	—	762	10.7
	歯 科	—	—	278	3.9
	小 計	—	—	3,072	43.3
合 計		164,194	449.8	294,723	1,243.1

(2) 調剤状況

区 分	入 院	外 来	計
処方箋枚数	100,641枚	15,522枚	116,163枚
調剤件数	684,700件	26,999件	711,699件
調剤剤数	5,388,212剤	477,140剤	5,865,352剤

(3) 臨床検査状況

区 分	件 数	構成比
一 般 検 査	103,442	2.9%
細 菌	59,095	1.7%
血 液	402,756	11.5%
血 清	178,823	5.1%
生 化 学	2,678,664	76.2%
病 理	15,158	0.4%
生 理	46,650	1.3%
輸 血	30,724	0.9%
計	3,515,312	100.0%

(4) 放射線照射状況

区 分	件 数	構成比
一 般 撮 影	55,935	50.7%
透 視 撮 影	2,744	2.5%
C T 撮 影	31,271	28.3%
リニアック照射	6,260	5.7%
R I 検 査	2,325	2.1%
M R I	10,386	9.4%
血 管 撮 影	1,465	1.3%
結 石 破 砕	1	0.0%
計	110,387	100.0%

5 医療機器の整備

名 称	契約年月日	用 途
血 管 造 影 検 査 装 置	H26. 9. 29	循環器検査に用い、患者の身体的負担を軽減し、安全で効率的な検査・治療を行うことができる装置である。
P E T - C T 装 置	H28. 3. 14	P E Tによる生体の機能画像とC Tによる形態画像を重ねあわせた鮮明な画像を一度に撮影でき、速やかに病変部の詳細な位置の特定、正確な診断ができる装置である。
内 視 鏡 下 手 術 支 援 ロ ボ ッ ト	H29. 6. 19	患者の腹部に5-10mmの孔を数カ所あけ、アームを挿入、操縦席に座った医師が、高倍率・高画質の3 D画像をみながら手元のコントローラーでアームに装着した内視鏡や手術器具（鉗子など）を遠隔操作し、手術を行う装置である。
S P E C T - C T 装 置	H29. 7. 24	特定の臓器に集積する放射性医薬品を用い、S P E C Tにより臓器の機能や代謝を画像化し、C Tで減弱補正をした融合画像を作成して詳細な位置の特定、正確な診断ができる装置である。
3 テ ス ラ 磁 気 共 鳴 断 層 撮 影 装 置 (3T MRI)	H30. 8. 14	3テスラの強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の力を利用して臓器や血管の撮影、肝臓の硬さや脂肪量を測定する装置である。
乳 房 用 X 線 撮 影 装 置	H30. 9. 4	乳房を圧迫してX線で撮影し、乳がん等の乳腺疾患の診断に用いる装置である。
X 線 コ ン プ ュ ー タ 断 層 撮 影 装 置	R 1. 6. 14	X線を利用して人体を輪切り状に撮影し、透過したX線をコンピュータ処理し画像化する装置である。
据 置 型 循 環 器 用 X 線 透 視 診 断 装 置	R 4. 5. 25	血管の透視撮影を目的とし、人体を透過したX線の蛍光作用、写真作用又は電離作用を利用して人体画像情報を診療のために提供する装置である。
C T 装 置	R 6. 6. 3	X線を利用して体を輪切りに切ったような画像（横断面）を撮影し、全身の骨や筋肉・血管といった組織を観察するための機器である。
高精度放射線治療装置	R 6. 7. 1	腫瘍に対してX線を照射することにより、根治、再発予防、疼痛緩和等を行うための機器である。

6 規模設備等の状況（令和7年4月1日現在）

(1) 敷地面積	23,009	m ²	
(2) 建物延面積	59,365	m ²	
玄関棟	鉄骨造3階建	1,438	m ²
北診療棟	鉄筋コンクリート造3階建	3,726	m ²
中央診療棟	鉄筋鉄骨コンクリート造10階建	22,468	m ²
西診療棟	鉄骨一部鉄筋コンクリート造11階建	22,704	m ²
I M R T棟	鉄筋コンクリート造1階建	165	m ²
駐車場棟	鉄骨造2階建	2,958	m ²
エネルギー棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,286	m ²
看護専門学校	鉄筋コンクリート造3階建	1,890	m ²
看護師寮	鉄筋コンクリート造3階建	934	m ²
その他附属建物		1,796	m ²

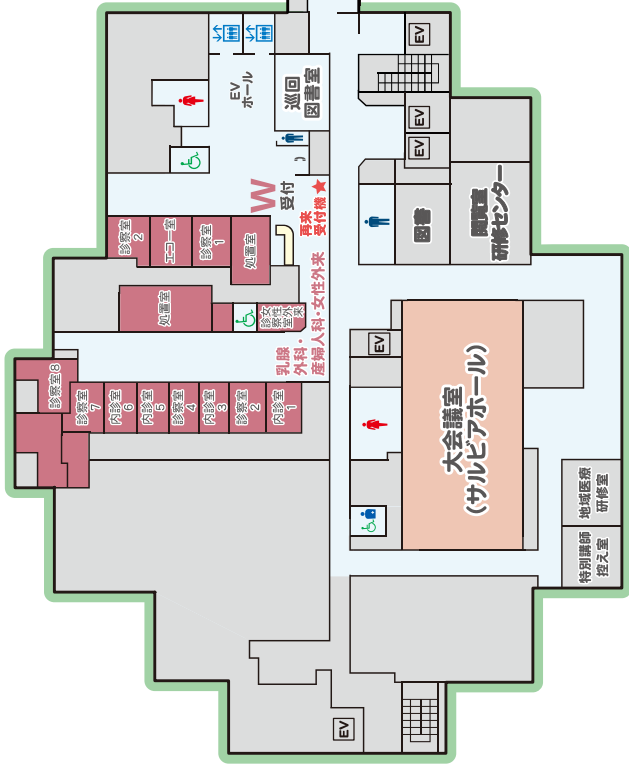
■案内図

	西診療棟	中央診療棟	玄関棟	北診療棟
R F	ヘリポート			
11 F	展望レストラン			
10 F	病棟	病棟		
9 F	病棟	病棟		
8 F	病棟	病棟		
7 F	病棟	病棟、小児血液疾患センター		
6 F	精神科デイ・ケアセンター、 リハビリテーション科	病棟		
5 F	管理部門、ひばり学級	病棟、中5 H C U		
4 F	産婦人科、乳腺外科、女性外来、 サルビアホール	病棟（レディースフロア）		
3 F	外科、呼吸器・腫瘍内科、呼吸器外科、 心臓血管外科、歯科・歯科口腔外科、 緩和医療科、消化器病センター、 外来化学療法センター、栄養相談室	中央手術室、病棟（集中治療室、 中3 H C U・循環器病センター、 心不全センター）	管理部門	看護専門学校
2 F	小児科、精神科、皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻いんこう科・頭頸部外科、 生理検査室	腎臓病・血液浄化センター、中央臨床検査 部、治験・臨床研究管理センター、 健康管理センター（人間ドック）、 管理部門	管理部門、 地域連携部	リネン室、 看護専門学校
1 F	内科（循環器内科、腎臓内科、 消化器内科、血液内科、 糖尿病・内分泌内科、 総合診療・膠原病内科、 認知症疾患医療センター）、 中央採血室	整形外科、形成外科、脳神経外科、 脳神経内科、放射線科、中央放射線部、 薬剤部、患者総合支援センター、 救急診療部、 休日急病センター、 小児夜間急病センター、 看護外来、売店	医事課、 相談支援 センター、 がん相談支援 センター、 がん就労支援 センター、 総合案内 （面会受付）	R I 検査室、 看護専門学校



4階フロアマップ

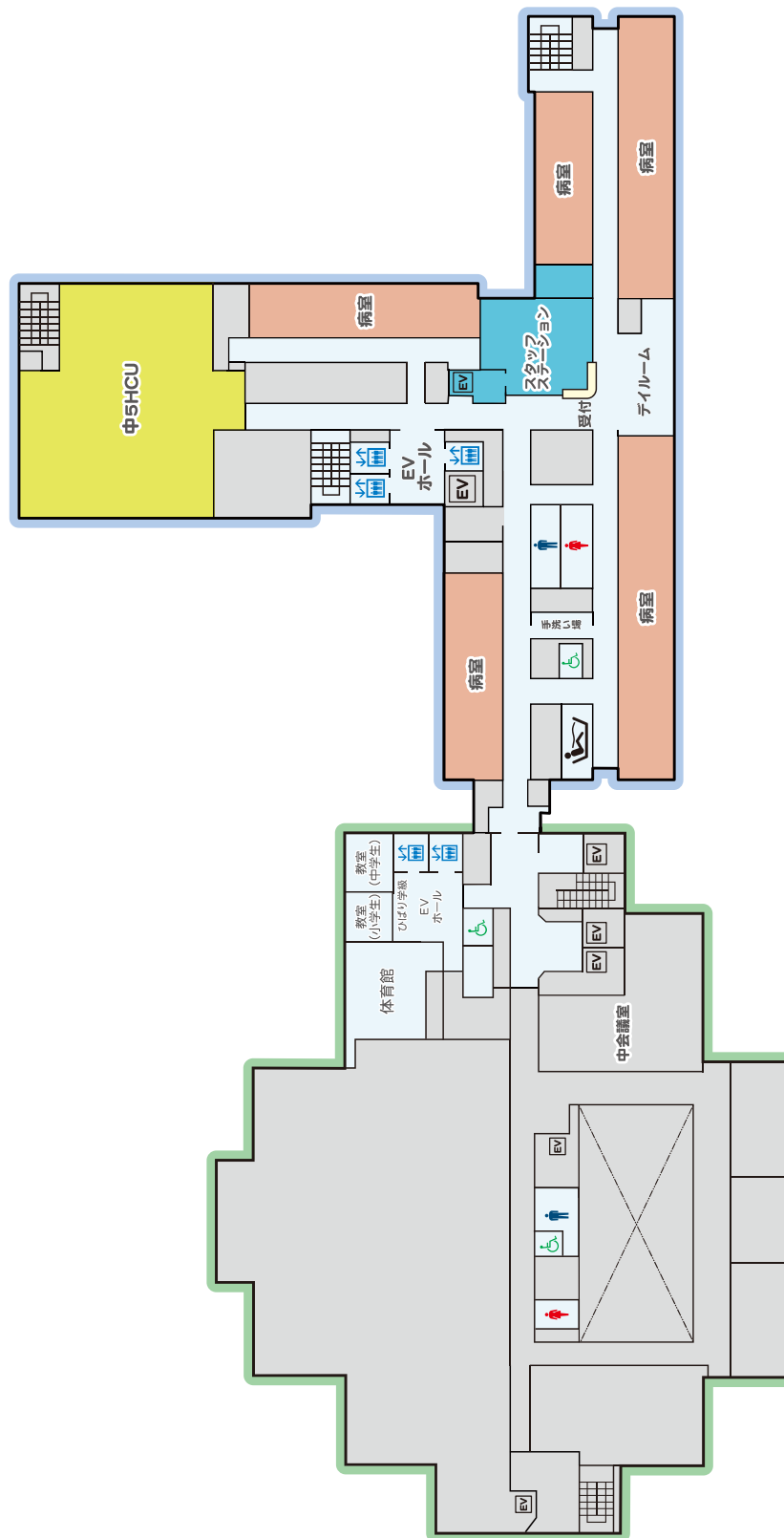
中央診療棟



西診療棟

5階フロアマップ

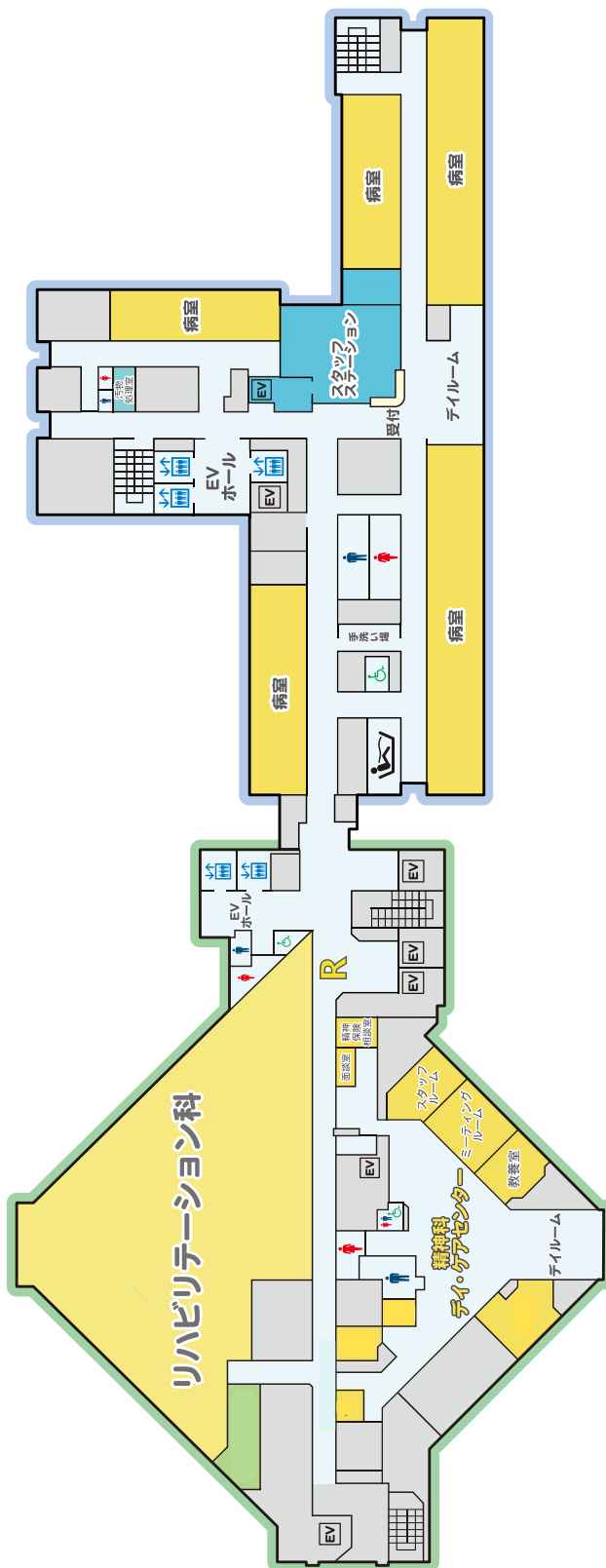
中央診療棟



西診療棟

6階フロアマップ

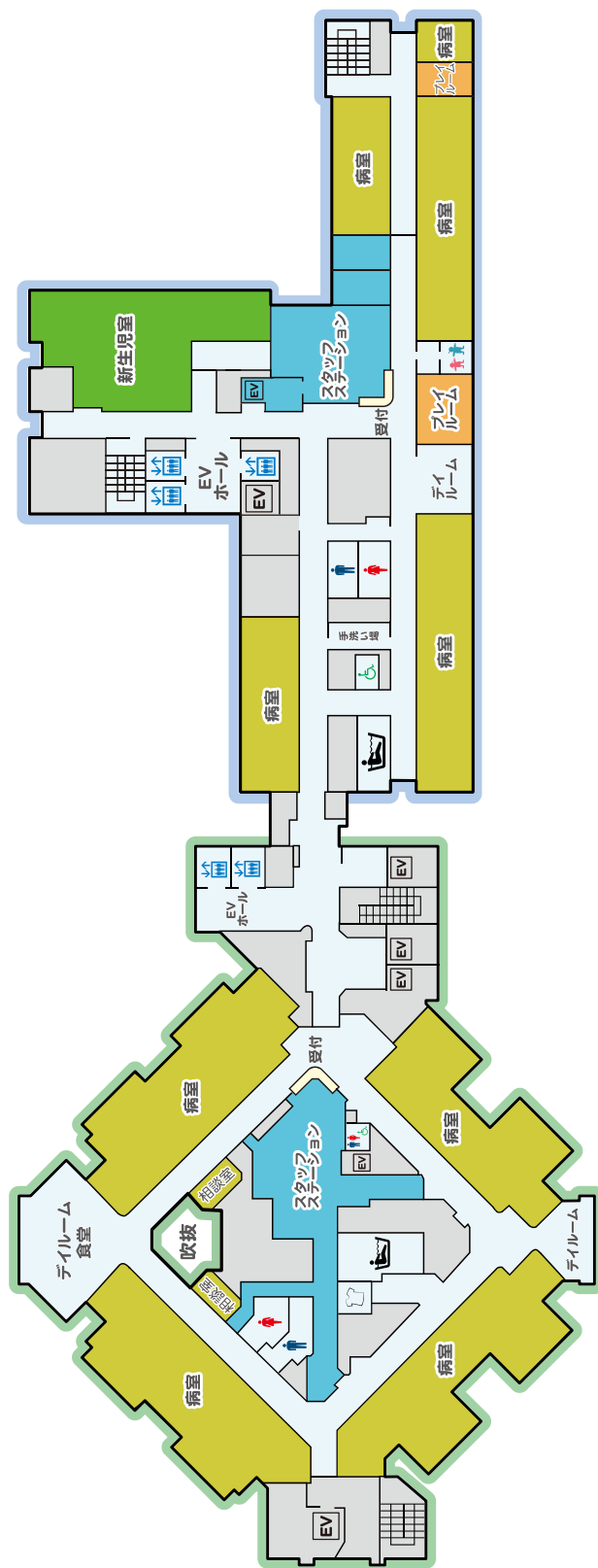
中央診療棟



西診療棟

7階フロアマップ

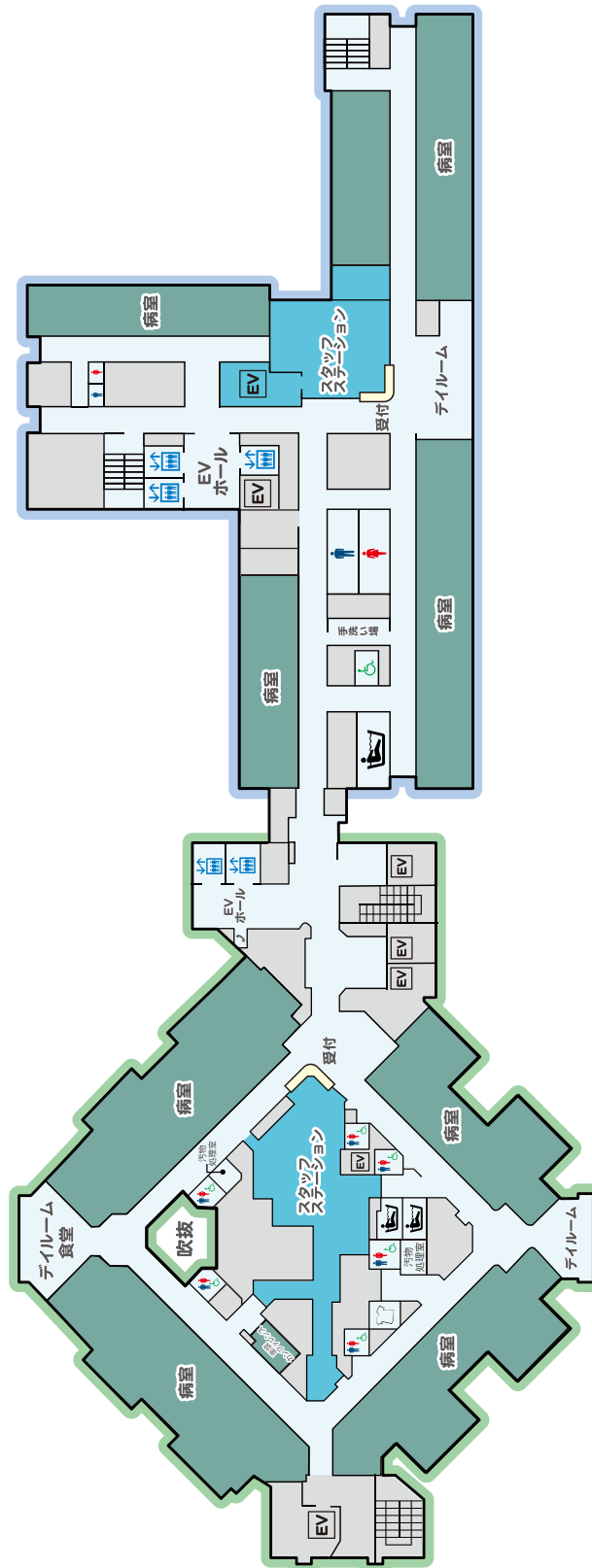
中央診療棟



西診療棟

8階フロアマップ

中央診療棟

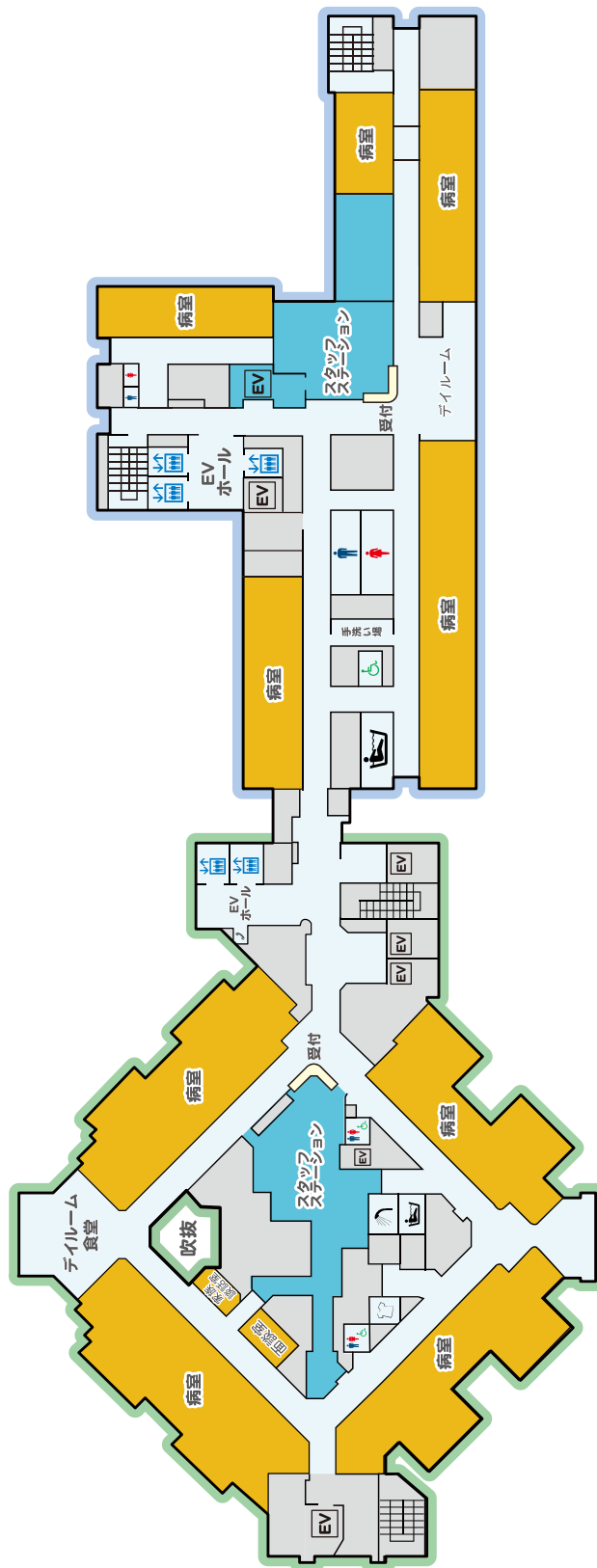


西診療棟

9階フロアマップ

10階フロアマップ

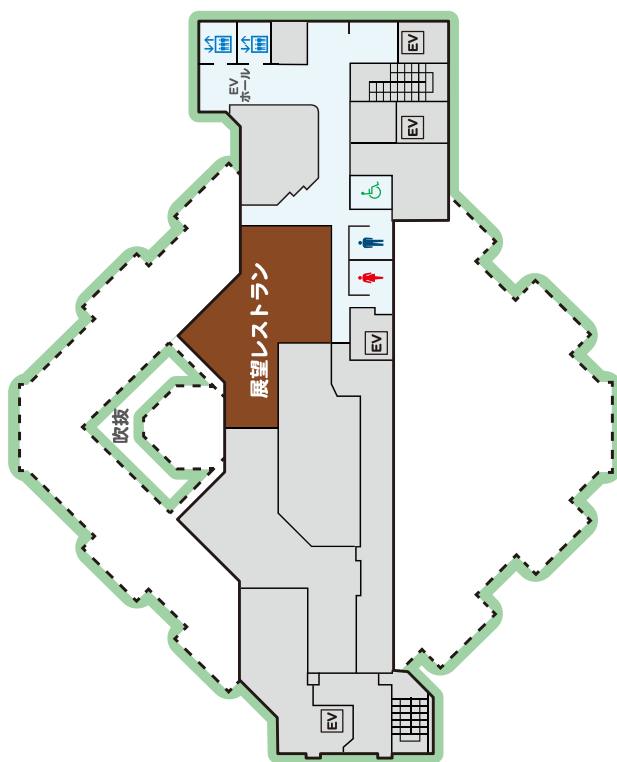
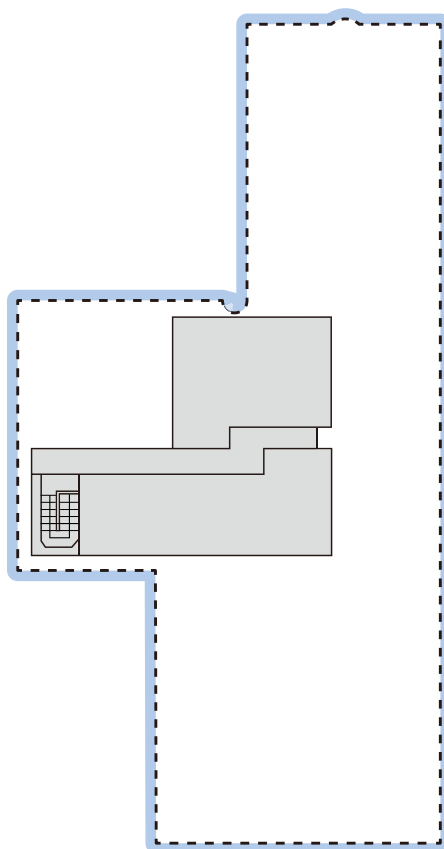
中央診療棟



西診療棟

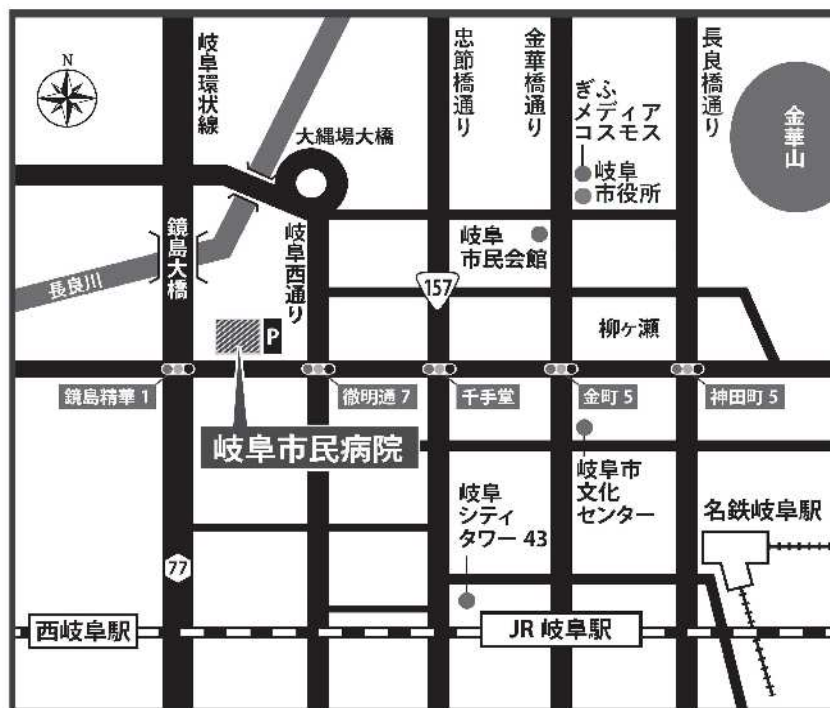
11階全体図

中央診療棟



西診療棟

■地図・交通アクセス・診療日等のご案内



●交通アクセス

【自動車】JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅から所要時間約10分

【バス】岐阜バス「市民病院前」下車 徒歩約1分

- 診療日 月曜日～金曜日
- 休診日 土・日曜日、祝日、年末年始
- 受付時間 8時～11時
- 面会時間 13時～20時





岐阜市民病院

☎500-8513 岐阜市鹿島町7丁目1番地

TEL (058) 251-1101 (代表)

FAX (058) 252-1335

<https://gmhosp.jp/>